

## 優良現場の紹介

1. 表彰年度：平成27年度
2. 事業場名：大成・戸田・大豊建設共同企業体
3. 工事名：東京外環自動車道 田尻工事
4. 発注者名：東日本高速道路株式会社 関東支社

5. 工事概要：建設中の外環自動車道市川市田尻地内で京葉道路との接合ポイントとなる京葉JCTの建設を行う工事で、外環道本線部及びランプ部は半地下式構造となっている、地上部の既存道路を迂回供用しながらの躯体の構築工事である。
6. 埋設管状況：ガス管 MAK  $\phi$  300mmL=43m、L=218.7m  $\phi$  150L=38m、水道管 NS  $\phi$  300mmL=38m 下水道管塩ビ  $\phi$  200mmL=40m、東電 SVP  $\phi$  130mmL=70m、FEP  $\phi$  150mmL=70m、NTT  $\phi$  100mm5 条 2 段 L=84m、JCN 市川 FEP  $\phi$  130mmL=70m 雨水水路 RC  $\phi$  1000mmL=60m 他非常に多岐に渡り吊受防護にて管理している。

### 施工場所：千葉県市川市田尻地内



### 7. 表彰の対象となった具体的内容

- 1) 地下埋設物管理者との適切な時期の協議、立会、確認を実施し、事前の管種変更や移設等の作業が実施され、適切に管理され事故防止措置が徹底されている。
- 2) 掘削線内においては、埋設物の周辺防護措置を講じ、注意喚呼を目的として周囲にLED青色チューブライトを設置する等接触事故防止対策が講じられている。
- 3) 地下掘削線内では、多数の埋設物が輻輳しているため埋設物全体を確認出来る点検通路が整備され、地下埋設管種、点検札、緊急連絡先や避難通路、ルート図（エリア毎のハザードマップ）等の掲示物が判り易く適所に掲示されている。
- 4) 日建連の事故防止講習会の受講は元より、他企業より外部講師を招聘して現場に即した事故防止を加味した関係者への事故防止教育が適切に実施されている。また、KY活動記録に地下埋設物や架空線近接作業の有無を記入する等、協力会社に対して日々の地下埋設物や架空線事故防止への注意喚起等の指導教育が実施されている。
- 5) 緊急時の対応として、各埋設物に関してエリア毎のハザードマップを作成し、所属職員や作業員に対して教育すると共に作業所内の各所に掲示し周知されている。
- 6) 閑静な住宅地である現場周辺環境への配慮として、交差点部や曲がり角部の視認性を妨げない工夫として、透明の仮囲い柵を採用して設置している。また、夏場の日射熱抑制対策とした緑のカーテンの栽培や、空調電力削減対策として事業所内にソーラー施設を設置し、事務所棟や場内の照明電源として採用するなど、省電力化、CO2削減の為に様々な工夫を行っている。また、現場見学会等を積極的に開催することにより、都市土木工事のイメージアップに努めている。